



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2020/12/20

Rd-7 富士スピードウェイ

天候：晴れ

気温：6°C

出走台数：20台

COVID-19 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うカレンダー変更で、およそ5ヶ月遅れで開幕した2020全日本スーパーフォーミュラ選手権は、コロナ禍の中6戦を終え、ついに最終戦を12月の富士スピードウェイで迎えた。

第6戦鈴鹿を終えた時点で平川選手と同点ポイントリーダーで最終戦に臨む山本選手。

ドライバータイトルを有利に進めるためにも、まずは予選ポイント獲得が重要となる。

ノックアウト第1予選A組の山本選手は、12月低温下での富士スピードウェイの路温と、前戦鈴鹿から使用可能になったタイヤーウオーマー利用による温まったタイヤのコンディションを確認すべくチェックランを行った。残り6分を切ったタイミングでニュータイヤを装着してコースイン。3番手で第2予選に進む。

B組福住選手も開始と同時にチェックランを行い、残り6分でコースへ。3計測目のアタックで4番手を記録し第2予選へ進んだ。

迎えた第2予選。わずかにセットアップを修正した両ドライバーは、コースオープンとともにコースイン。チェックランの後、福住選手が先にアタックへ。修正したセットアップが機能しなかったか、通過ギリギリの8番手タイム（1台にペナルティが課され7番手となる）。山本選手は3番手で、第3予選へ。

第3予選。第2予選の結果を踏まえ、エアロバランス等に小修正を行いアタックへ向かう。山本選手はアタック時点で首位タイムを記録するが、その後ライバルが上回り3位。貴重な1ポイントを加算した。

福住選手は、1分20秒台前半を記録するが6位で予選を終えた。

5：山本選手 予選3位（第1予選A組3位 第2予選3位 第3予選3位）HONDA勢2位

走り始めから、感触悪くはないけどポールを取るには足りないと感じていました。

ただチームはその状態から良い組立てでリカバリーしてくれて3位でレースを迎えることが出来たのは嬉しいです。タイトル争いをしているライバルよりも前からスタートできるのは良い流れですが、ドライバータイトルを意識するというよりはレースに勝ちたいですね。とにかく、精一杯力を出し切ります。

6：福住選手 予選6位（第1予選B組4位 第2予選7位 第3予選6位）HONDA勢5位

予選を通して、第2セクターでバランスがうまくまとまらず、セットアップもいくつかトライしましたが、1分19秒台は見えませんでした。

決勝レースでは、山本選手とのデータ共有なども行い、チームタイトル獲得に向けてチーム一丸となって臨みます。